

ぐんま未来共創トライアル補助金の募集を開始します (4月7日(月)募集開始)

群馬県では、「新しいことは群馬で試す」をテーマに、デジタル技術を活用した新たなビジネスの実証・実装プロジェクトの一部を補助する制度を設けており、令和7年度の募集を以下のとおり開始します。

◎募集概要

- 1 対象事業領域** ※詳細は次ページ参考をご確認ください。
地域の産業社会にイノベーションをもたらす可能性のある、デジタル技術を活用して行う新たなビジネスの社会実証または実装プロジェクトで、「VIRTUAL・AI」「交通・物流」「医療・ヘルスケア」「アグリテック・フードテック」「防災・レジリエンス」「インフラメンテナンス」「グリーンテック」のいずれかの領域に該当する事業
- 2 補助限度額・補助率等**
 - ・補助限度額：1件あたり最大3,000万円（補助率：2/3以内）
 - ・スタートアップが参画する場合、最大200万円を追加補助（県外スタートアップも追加支援対象）
 - ・県内に事務所等の活動拠点を有しない事業者が、事業の実施にあたり県内への活動拠点の移転または新規設置を行う場合、最大300万円を追加補助
- 3 対象者**
3者以上の複数事業者による連携体（コンソーシアム）
（県外企業・団体のみでの連携体も対象）
- 4 募集期間**
令和7年4月7日（月）～6月6日（金）午後5時
※募集案内、様式及び申込方法等については、群馬県HPよりご確認ください。
URL：<https://www.pref.gunma.jp/site/hojokin/696687.html>
- 5 問い合わせ先**
群馬県 産業経済部 未来投資・デジタル産業課 デジタル産業創出係
TEL:027-898-2792 Email：miraitoushi@pref.gunma.lg.jp

「ぐんま未来共創トライアル補助金」の対象領域について

領域① VIRTUAL・AI

デジタル技術により創り出される仮想現実の世界、AI・ビッグデータによる情報システムの設計・研究などを活用し、「地域のものづくりや観光、農林業、医療、教育などにおいて新たな価値を提供するサービス」や、「製品開発・製造プロセスや、顧客体験サービスの提供プロセスの効率化」、「県民の安心安全な暮らしを守る取組」など。

<Keyword>

生成AI、メタバース、デジタルツイン、スマートファクトリー、VR（仮想現実）/AR（拡張現実）/MR（複合現実）、ブロックチェーン、NFC、量子コンピューティング、エッジコンピューティング 等

領域② 交通・物流

人口減少や超高齢社会により顕在化する「移動弱者の解消」や、「交通・物流を取り巻く諸課題（事故・渋滞・環境への負荷・ラストワンマイル配送など）の解決」、有事の際でも機能を維持できる「強靱な物流網の構築」など。

<Keyword>

自動運転、ドローン、ラストワンマイル、ロボティクス、自動搬送、シェアリングサービス、MaaS、空飛ぶクルマ 等

領域③ 医療・ヘルスケア

医療・予防・介護・見守りなど、「人々の健康な暮らしを維持するための取組」や「地域間でのサービス格差解消」、「現場従事者（エッセンシャルワーカー）の負担を軽減するための取組」など。

<Keyword>

遠隔医療、遠隔服薬指導、医療 MaaS、PHR（Personal Health Record）、健康管理アプリ、病気の早期発見、高齢者や子供の見守り 等

領域④ アグリテック・フードテック

農業・食品分野における人手不足や気候変動、食糧不足等の課題対応に資する、デジタル技術を活用したスマート農業やフードロスの解消、新たな食品の開発など。

<Keyword>

スマート農業、環境制御システム、フードロス対策、ソーラーシェアリング、代替食品開発 等

領域⑤ 防災・レジリエンス

近年頻発している自然災害等に対する防災、また被災後のレジリエンス（回復）に資する取組、有事におけるライフラインの維持など。

<Keyword>

防災 DX、デジタルを活用した避難経路の可視化、避難所の DX、
地点観測、非常時でも使用できる生活インフラ 等

領域⑥ インフラメンテナンス

高度経済成長期に集中的に整備された日本のインフラは、今後急速に老朽化していくことが懸念されている。人口減少が進む現代において、デジタル技術を活用した効率的なインフラメンテナンスに資する提案など。

<Keyword>

検査・点検・モニタリング、寿命予測、センシング、BIM、CIM、衛星データの活用、デジタルツイン、スマートインフラ 等

領域⑦ グリーンテック

持続可能な社会を実現するための資源循環や環境負荷を軽減する取組、再生可能エネルギーを活用した提案など。

<Keyword>

脱炭素、カーボンオフセット、再生可能エネルギー、資源循環、廃棄物削減・リサイクル、サプライチェーン全体の GHG 管理 等